

【施設状況】

グループ名称	保育園(芋井、青池、清野、西条)											
指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会							法人番号	5100005001689			
所管課	主	117000	保育・幼稚園課		副							
構成施設	1506	芋井保育園										
	1517	青池保育園										
	1499	清野保育園										
	1508	西条保育園										
施設分類	05	保健福祉・医療型			施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制		
施設概要	・青池保育園:鉄骨平屋造 398.45㎡、定員20人、保育室2室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 ・西条保育園:鉄骨平屋造 426.87㎡、定員30人、保育室3室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 ・清野保育園:鉄骨平屋造 493.02㎡、定員30人、保育室3室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 ・芋井保育園:鉄骨平屋造 392.40㎡、定員20人、保育室2室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭											
施設設置目的	児童福祉法に基づき、保育を必要とする児童を保育するための認可保育所を設置する。											
基本方針等	長野市保育所設置及び使用条例、長野市特定児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例、長野市特定児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例施行規則、長野市保育所管理規則に定める規定に従う。											
主な実施事業	・保育の実施 ・保育に関する相談、助言の実施 ・特別保育事業の実施											

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会					当該指定管理者の 指定回数	6 回
指定期間	令和3年4月1日	～	令和8年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成18年4月1日	
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。						評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)						3

2 施設の有効活用

No. 25

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年比	評価
	青池保育園 在園児数	人	11	13	15	16	107%	
	西条保育園 在園児数	人	38	31	32	26	81%	
	清野保育園 在園児数	人	35	36	36	36	100%	
	芋井保育園 在園児数	人	12	15	9	8	89%	
	合計	人	96	95	92	86	93%	
(特記事項)								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			3
	市指定事業	・保育の実施 ・保育に関する相談 ・特別保育の実施 ・通園バスの運行(芋井保育園)						
	自主事業	・提案を求めている						
サービス維持・向上の取組み (広報等)		・園開放や園行事について、子育て情報誌への情報提供と掲載 ・一時預かりの実施 ・行事等に関するチラシの配布 ・世代間交流の実施						

3 利用者評価

区分		内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート		4
	(2) 調査、会議等の内容 《青池》玄関前に意見箱を常時設置。個別懇談会(年2回)や保護者会、送迎時など保護者から意見・要望の聞き取り。年度末に行事等のアンケートを実施し結果を踏まえて次年度の行事等に反映出来るかを検討する。 《西条》日常的に連絡ノートの活用や送迎時において保護者とやり取りをしている。保護者が参加する行事にアンケートの実施、年度末にも振り返りを行うため自己評価としてアンケートを実施した。 《清野》年度初めの時期に担任と保護者の個別懇談を実施した。また送迎時や連絡ノートで保護者とのやり取りを密にし、意見や要望が日常的に出せるようにした。年度末には園の運営についてのアンケートを実施した。 《芋井》保護者参加の9つの行事で、アンケート調査を実施した。回答率87% その他に、送迎時、連絡ノート、保護者総会、個別懇談会で意見や要望を把握した。			
利用者からの評価・苦情等	(3) 調査、会議等の結果	《青池》アンケート回収率100%。意見箱への投函無。個別懇談では全員に意見の聞き取りを行い個別目標に反映。結果を保護者会などで保護者に周知。 《西条》家庭からの心配事などはその都度対応し、必要に応じて個別面談などを行った。行事についてのアンケートはいただいた意見をもとに次年度に活かせるよう、職員の振り返りと併せて記録している。年度末の保護者アンケートについては、ご意見に対し、園としての回答を保護者総会時に行った。 《清野》随時、保護者が担任とやり取りできるようにしていたため、保護者の想いを受け取ることが出来ていた。年度末に実施したアンケートの内容について、園から回答し周知した。 《芋井》①親子遠足②芋井小学校との合同運動会③春のNPIC体育参観④夏祭り⑤祖父母参加日⑥秋のNPIC体育参観⑦スポーツフェスティバル⑧保育参加日⑨おたのしみ会 9つのアンケート結果(全て)・・・良い 100%		4
	(1) 良好とする評価 《青池》のびのびとした環境での保育・個々を尊重した保育には高評価を受けている。保護者・地域の方の協力により円滑な運営は出ている。行事時に祖父母・地域老人・宅老所の方々をお招きしている事に高評価を受けている。 《西条》子どもたちの意見や考えを優先していただいて、のびのび保育園を楽しんでいる。担任の先生以外の先生にも声をかけてもらいよく見てもらっている。行事ごとに工夫をしてもらい親子で楽しく参加することが出来た。 《清野》丁寧に保育をしてくれている、子どもたちが「保育園楽しい」と登園している。身体も心も育ててもらい成長を感じるなどのご意見をいただいている。 《芋井》少人数で難しい中、様々な工夫をしてくださって感謝します。成長を感じられ嬉しい。園での様子を知ることが出来、一緒に体験することも出来て楽しかった。土曜日開催の行事は、多くの家族が参加出来て、一緒に楽しむことも出来るので良かった。(全て複数回答)			
利用者からの評価・苦情等	(2) 苦情・改善等の要望事項	《青池》苦情等はないが園児減少による保育園継続を心配する声はあがっている。 《西条》言葉遣い・言葉がけが気になる(まだいたの・早く早くなど子どもをせかしているよう)不適切支援になるのではないかと感じた。 《清野》急な連絡等はメールで連絡して欲しい。平日の行事が多く休みの調整が難しかった。 《芋井》芋井小学校との合同運動会で、未満児は、「風車拾い」のみの参加だった。充実した活動で良かったが、もう一つ位参加出来る競技があれば嬉しかった。第2、第4土曜日に開催されるとお父さんも参加出来るので嬉しい。		4
	《対応措置》 《青池》園児募集のポスターを掲示したり、学校や地域の会議等で園児募集の周知を図った。 《西条》すぐに対応できるよう話し合いをし、言葉遣い、言葉がけには気を付けるよう、職員に指導した。併せて、保護者と話をし、職員に指導したことを伝えた。 《清野》オクレンジャーの導入を行うことについて説明をした。平日の行事について、土曜日の行事が増えることで職員が平日に公休を消化しなければならないため、通常保育に影響が出る事を説明、ご理解いただいた。 《芋井》芋井小学校との合同運動会に全園児で参加することとした。土曜日実施の行事を全て、第2土曜日に開催することにした。			

4 事業収支

No. 25

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和6年度)				市の収支				評価		
		年度計画額		収支実績額			令和6年度決算			令和5年度決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額
	収入	利用料金	3,019,000	利用料金	2,741,486	歳入	使用料	行政財産目的外使用料		使用料	行政財産目的外使用料
		指定管理料	143,344,000	指定管理料	165,375,790		雑(納付金)			雑(納付金)	
		委託料		委託料			貸付料			貸付料	
		販売収入等		販売収入等			その他			その他	
		その他収入	11,982,000	その他収入	9,092,127		保育料			9,449,680	
		バス運行事業	2,449,000	バス運行事業	2,449,000		国・県補助金	61,000			
		補助金	1,938,000	補助金	3,059,778		計	5,800,580		計	9,510,680
計	162,732,000	計	182,718,181								
支出	人件費	137,944,000	人件費	142,054,050	歳出	指定管理料	165,375,790	指定管理料	168,717,530		
	設備管理費	1,097,000	設備管理費	1,115,656		委託料	2,449,000	委託料	2,947,000		
	備品購入費	6,673,000	備品購入費	6,101,331		需用費		需用費			
	修繕費	2,134,000	修繕費	1,190,424		役務費		役務費			
	光熱水費	6,958,000	光熱水費	5,078,982		使用料・賃借料		使用料・賃借料			
	事業費	9,048,000	事業費	7,806,653		修繕費		修繕費			
	事務経費	7,077,000	事務経費	5,960,294		工事請負費		工事請負費			
	本社経費	5,708,000	本社経費	5,749,371		備品購入費		備品購入費			
	その他	11,648,000	その他	9,240,086		その他		その他			
	補助金		補助金			3,059,778	補助金	2,777,511			
計	188,287,000	計	184,296,847	計	170,884,568	計	174,442,041				
自主事業	収入		収入								
	支出		支出								
	自主事業損益	0	自主事業損益	0							
損益	-25,555,000		-1,578,666		差引	-165,083,988		-164,931,361			
人件費比率【人件費(賃金等)／令和6年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									77.1%		
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由				本部経費(人件費等)の実績により、再計算を行っているため。							

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

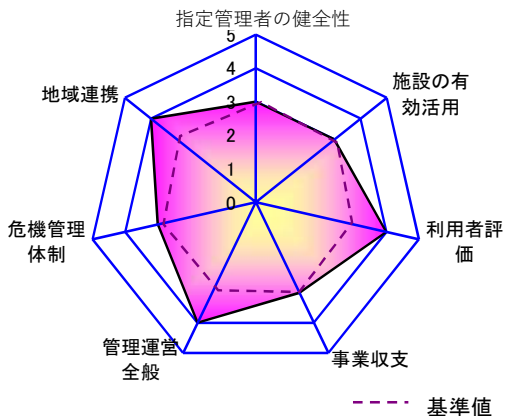
区分		確認内容	チェック欄	評価	
管理運営全般	職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☒	4	
		配置実績 (うち市内雇用職員数)			園長4(3)人、保育士44(42)人、調理員14(13)人、バス運転手3(3)人、バス添乗員1(1)人 計66(62)人
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
		4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
	平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	☒		
		2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	☒		
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
	施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実施されたか	☒		
2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか					
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	☒			
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか				

危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		評価
	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	4
	・地域の関係団体と連携し、子育て支援の実施。 ・地域行事への積極的な参加。		

【総合評価】

総合評価	評価項目	評価	得点	総合評価	
	指定管理者の健全性	3	6	合計得点	
	施設の有効活用	3	6		
	利用者評価	4	16	70	
	事業収支	3	6		
	管理運営全般	4	16		
	危機管理体制	3	12		
	地域連携	4	8		
	評価理由	・「利用者評価」について、アンケート、懇談会、聞き取りや連絡ノートなど様々な方法で意見や要望を把握し、対応している。また、利用者からのアンケート結果も、良好であることから、「4」とした。 ・「管理運営全般」について、配置基準に沿って適正に職員を配置していること、施設運営が円滑に実施されていることから「4」とした。 ・「地域連携」について、職員の多くは市内雇用、世代間交流等の地域行事への積極的な参加、地域の小学校や各種関係団体協働・連携し、地域貢献ができたことから「4」とした。			
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)		
	様々な事情により入所人数が少なく困難な状況だが、特色を出した保育の実施により園児獲得に努める。	立地的にも厳しい状況の中、特に0～2歳児の途中入園を受け入れることができた。 利用者からの要望等にも常に真摯に向き合い迅速丁寧な対応をし、信頼を得ている。			
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	・園児の人権を尊重し、一人ひとりが安心・安全な環境の中で、園児主体の保育、行事等実施していく。 ・地域や小学校との連携をより強く図り、一時保育や園開放を通じてさらなる魅力を発信し、園児の確保に努める。 ・令和8年度以降の保育園運営について、指定管理の更新を行うかを含め、指定管理者と十分に協議を行う。				

指定管理者自己評価			
(1) 今年度の取組みに対する評価 ① サービス向上に向けての取組み 《青池》発達支援員の巡回指導を継続して取り入れ、発達上の課題が見られる園児への保育方法を職員全員が習得した。雪上運動会をはじめ恵まれた環境を生かした保育の実施ができた。様々な研修に参加し保育の質を上げる努力をした。計画した行事をすべて行う事ができた。 《西条》より良い保育の場となるよう、職員が参加した研修について内容を共有した。また、地域のニーズにこたえられるよう体制を整えて、途中入園を積極的に行い、保護者からの意見を聞きながら、行事について積極的に開催した。小学校と連携し、季節の行事などで交流を図った。 《清野》子どもたちや保護者の意見を取り入れながらより良い保育の提供に努めた。発達上の課題が見られる園児の受け入れもする中で職員の学びを深め、保育内容の充実を図った。発達相談や巡回相談を利用し、園外からの視点でアドバイスを受けて職員の資質向上に努めた。今年度はトランポリンの入れ替えを行い、運動遊びの環境を充実させた。 《芋井》保育士の資質向上のために、様々な研修に参加した。学んだことを報告し合い、統一した保育に努めた。より良い保育の実現に向け、「自己評価」を行った。日々の保育が充実し、豊かで健やかな育ちが補償されるように、結果を振り返り共通理解した。取り組みの過程で、職員間での会話が增え、子どもに対する気付きを得たり理解を深めたりすることが出来た。 ② 業務の効率化に対する取組み 《青池》勤怠システムで勤務時間の管理をする事で時間内で業務を終えられるよう努め、また、支援システムを活用し業務省略化を図った。 《西条》園内のネットワークやICT環境を整え、時間内に記録などが進められている。職員間で効率の良い業務を意識して、協力しながら環境整備なども取り組むことが出来た。 《清野》勤務内で事務処理の時間を設けた。 《芋井》職員会の口頭での事務連絡を文章に変更したり、事前に議題を周知し、考えをまとめて参加するようにしたこととで時間短縮を図った。勤務時間内に記録等を終えることが出来るように、全職員が効率の良い業務を意識し協力した。 ③ その他 《青池》BCPの策定を進めている。研修への積極的な参加により保育のスキルアップを図った。 《西条》日常的な危機管理や災害時の対応につなげられるマニュアルやBCPの作成に取り掛かった。また、時間を設定しない災害時の避難訓練も開始した。受け渡し訓練も行った。 《清野》併設する清野小学校の閉校を控え、交流なども積極的に行った。次年度からの幼保小の連携についても相談を重ねてきたが見通しが立ちにくい。遊戯室と厨房にクーラーの設置をし夏季の環境を改善した。 《芋井》BCPを園の状況にあった内容に変更し完成させた。災害時の避難場所を親子で一緒に歩き、確認し合った。より良い保育の実現に向け「虐待防止チェックリスト」を行った。個々に自分の保育を振り返り、どのようなことに気を付けていくことが必要か、共有することが出来た。			
(2) 指定管理者業務実施上の課題 《青池》園舎、エアコン等の老朽化が進んでいる。修繕箇所多数。保育園存続危機への保護者・地域の懸念。 《西条》園の体制を整え、未満児を中心に地域のニーズにこたえられるよう年度途中の入所を積極的に行ったが地域における園児の減少は避けられず、運営についても協議が必要である。施設の老朽化は顕著であり、園児が安心して生活できるよう継続的な修繕も行う必要がある。 《清野》閉校になる清野小学校の跡地の手入れなどについて心配が大きい。耐震工事後、年数が経ち床の塗料がはがれたり、修繕が必要になると思われる箇所が増えている。園児の怪けにつながらないように注意、修繕が必要。 《芋井》施設、設備の老朽化が進み、年々修繕箇所が増えている。保護者、地域の方は、園児が減少しているので、来年以降も園が存続されるのか心配されている。			
(3) 総合評価 評価基準 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る		指定管理者 自己総合評価	B
① 評価理由 《青池》5月に1歳児1名が入園し利用目標を上回った。行事・保育の遂行がすべて出来た。研修に積極的に参加出来た。 《西条》年度途中の受け入れを積極的に行い、利用率の目標値を達成した。また、保護者の協力や理解のもとに行事などを開催した。 《清野》職員の体制を整えながら、年間を通して年度途中の受け入れを積極的に行い利用率の目標値を達成している。日々の保育について、また行事についても家庭から好評をいただける取り組みが出来た。 《芋井》利用率の目標値35%に達することが出来なかった。加茂保育園との交流保育を年間18回、芋井小学校との交流を年10回実施し、多くの友だちと関わり、社会性、協調性を身に付ける機会を設けた。インスタグラムを開始し、園の保育を発信した。入園に繋がらなかったが、保護者からは好評だった。R4年度から継続してきた食育活動の一環として保護者と一緒にオリジナルの「食育カルタ」を作った。家庭で食育をより意識していただける機会となった。 ② 次年度以降の取組み 《青池》子供主体の保育を継続して行う。継続して園児確保の努力をする。より強く地域との連携を図る。 《西条》園児の園生活が豊かであるように、職員は自分自身の資質向上に努めながら小規模園の特徴を活かした保育を目指す。地域、小学校との連携や関りを大切にしながら園児の確保に努める。 《清野》年長児の就学先が複数になるため、各小学校との幼保小連携について丁寧に行う必要がある。閉校となる清野小学校の跡地について長野市教育委員会事務局との連絡を密にしながら環境整備を含めて確認する。 《芋井》一人ひとりの子ども達が安全な環境の中で、友だちと関わりながら主体的に遊べる環境作りに努めていく。職員がそれぞれの考えを出し合い、協力して、少人数だから出来る経験、魅力のある保育、工夫した行事を行い、みんなの心に残る一年を目指す。			